

(様式第4号)

第1回真田地区有線放送電話審議会 会議概要

1 審議会名	第1回真田地区有線放送電話審議会
2 日時	平成31年1月29日(火) 午後7時00分から午後8時00分まで
3 会場	真田地域自治センター3階 講堂
4 出席者	倉寫幸雄会長、三井厚子副会長、大久保秀子委員、大塚昌幸委員、神田學委員 北沢智明委員、小林恵委員、小林裕子委員、下条明敏委員、中沢盛男委員 町田洋子委員、宮本恵美委員
5 市側出席者	山宮センター長、塚田地域振興課長、渡辺有線放送担当係長、三井主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	1人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成31年1月30日

協 議 事 項 等

1 開 会
2 委員委嘱 (委嘱状交付)
3 真田地域自治センター長あいさつ
4 自己紹介
5 会長・副会長選出 会長 倉寫幸雄委員 副会長 三井厚子委員
6 正副会長あいさつ
7 諮 問 「上田市真田地区有線放送電話の今後のあり方について」
8 協議事項 (1) 真田地区有線放送電話事業の状況等について ・資料1 「真田地区有線放送電話事業の概要」説明 ⇒質問・意見等なく了承 ・資料2 「真田有線放送電話事業 業務量の推移」説明 (会長) 今まで純利益が出ているが、それらの積立金はどのくらいあるか。 (事務局) 建設改良等将来に施設更新する為の積立金が1億8千8百万円余、赤字補填の為の積立金が5千3百万円余あり。 (委員) 脱退件数、加入件数の自治会別の減少率、増加率を知りたい。 (事務局) 自治会別のデータは取っていないため、過去の脱退届と加入届を計算しないとできない。加入件数はここ5年で2、3件しかないが、脱退件数は毎年60件程ある。次回、脱退件数の方は5年間程計算する。 (委員) 脱退件数は60件前後あるが、脱退理由は何か。 (事務局) 一つは、有線利用者の減少。携帯電話の普及や固定電話も保有しない住民が増加。もう一つは、高齢で一人暮らしの加入者の施設入所や死亡による脱退。大きく分けるとその脱退理由は2つである。 ・資料3 「消費税率の改定に伴う対応について」説明 ⇒質問・意見等なく了承

(2) 審議会のスケジュールについて

(事務局) 今回は、7時開催だが、次回以降も同様に夜間開催で良いか、または日中開催が良いか。

次回会議日程は、3月市議会の日程等があり、2月の20日か21日はどうか。

(委員) いつでも可。

(委員) 夜間可。

(委員) 日程は、どちらでも可。

(会長) 今後も夜間開催で良い。日程は、事務局で決定し通知することです承。

(委員) 今回のように資料があっても中々意見が出てこない。事前に資料の配布があると、検討、質問ができる。

(委員) 数字から収入や支出の関係や増減利益を見て結論は出てしまうが、それだけの評価だけではなく、有線放送の役割やこれからどういう方向に向かうのか、色々な観点から考えて議論すべき。青木村では、全戸にテレビ電話を配布し、それにより非常に活性化してきている。そういう点から見ると、有線放送も加入台数や収支だけではなく文化的な位置付けなど様々な意見を出した方が良いのではないか。

(会長) 次回審議会で、今回の意見等を含めて審議していきたい。

9 その他

10 閉会 (地域振興課長)